

令和5年度府中市立府中第二小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

児童の学びに関する課題①～③

- ① 教科や単元によって、学習に対して受動的な姿が見られる。
- ② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着、生活経験に個人差がある。
- ③ 思考・判断し、表現することに苦手意識がある。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

学校としての指導に関する課題①～③

- ① 各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせた課題解決型の授業を充実させる。
- ② 児童が自己調整しながら学習を進められるよう、個に応じた指導を充実させる。
- ③ 次の学びや生活に生かす力を育むよう、学び合いや学習の振り返りの時間を充実させる。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

1（1）を踏まえ、目指す学びの姿を記載する。

- ① すすんで学ぶ児童
- ② 自らの学習状況を把握し、学びを深める児童
- ③ 自ら考え、学び合う児童

(2) 目指す授業像

1（2）を踏まえ、目指す授業像を記載する。

- ① 児童の考えを生かした探究的な活動のある授業
- ② 児童の個別最適な学びのある授業
- ③ 協働的な学びのある授業

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	国語辞典の活用や幅広い読書活動を推奨することで、基礎となる語彙力を身に付けさせ、言語活動を充実させることで、伝え合う力を高め、思考力や想像力を育む授業を展開する。	音楽	ICT 機器を活用したり、ペアやグループ活動を取り入れたりすることで、自身の演奏のよさや課題に気付き、課題解決を図る授業を展開する。
算数	学習内容を生活に関連付けて捉えたり理解したりする活動を充実させることで、児童の学ぶ意欲を向上させる授業を展開する。	図画工作	児童が主体的に取り組める題材の工夫をするとともに、お互いの考えを認め合う機会を設け、一人一人の価値観を大切にする授業を展開する。
社会	地域教材や身近な教材を活用して単元を通した学習課題を設定し、課題解決に向けた探究活動を主とした授業を展開する。	家庭	生活課題からねらいを立てたり、学習したことを生かして社会とのつながりや自らの生活を振り返り、実践していく姿を育む授業を展開する。
理科	自然事象に対する児童の気付きから学習問題を見だし、児童が見通しをもちながら主体的に問題解決する授業を展開する。	体育	運動に親しむ中で学習課題を見付け、場や運動の仕方を工夫したり、友達との関わりを大切にしたりしながら、課題解決を図る授業を展開する。
生活	個々の気付きから課題を設定し、事前に予想を立て、自ら調べたり、体験したりしたことを伝え、学習を振り返って次の課題をもたせる授業を展開する。	外国語	ALT や ICT 機器を活用したり、実際に英語を用いる活動を多く取り入れたりすることで、児童が主体的にコミュニケーションを図ろうとする授業を展開する。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・算数や理科等の教科で教科書 Web サイトや scratch を活用することを通して、プログラミング学習を進める。
- ・各教科・領域のまとめの場面で、ドキュメントやスライドを活用する学習を進める。
- ・道徳や学級活動の授業を活用して、SNS 東京ノート等を活用して情報モラルについての学習を進める。